

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 聖心女子学院 初等科

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 108-0072
東京都港区白金4-11-1

E-mail : _____

Website : <http://www.tky-sacred-heart.ed.jp>

児童生徒数：男子 0 名 女子 628 名 合計 628 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校では、ESD という名称を使用していない場合でも、ESD を意図した活動を年間を通じて様々な形で行っている。本校の教育理念に「一人一人がかけがえない存在であること」、「世界の一員としての連帯感と使命感を持って」社会に貢献する、とあり、この考え方のもとに「共に生きる、共生」の考え方を軸にして教育活動を行っている。学校全体に浸透している奉仕活動・ボランティアの考え方も、ESD の精神につながる活動ととらえることができる。

1. ハイチ・デー [国際理解、平和・人権、環境、気候変動]

昼食のお弁当をおにぎりなど簡素なものとし、おかず分、日頃のおこづかいの節約などで貯めたお金を募金する。児童会の活動として、全校参加で行う。

寄付金はフィリピン等、支援を必要としているアジア、アフリカの姉妹校関係の地域に送る。困難な状況をおにぎり弁当を通して共有し、送り先の状況についても学ぶ。

7月1日、12月2日、2月24日に実施。

今年度の送り先はインドネシアとフィリピンのレイテ島。

インドネシア 聖心会の日本人修道女が活動している地区の移動図書館のための図書購入費用として寄付した。事前に寄付先の状況について学ぶ機会を持った。事後報告を受ける予定。インドネシアからは継続的に現地での聖心会修道女の活動報告があり、インドネシアの情勢や現地の子どもたちの状況・生活の理解の機会となっている。

フィリピンのレイテ島 聖心会日本人修道女が関わっているレイテ島のオルモックについて、台風被害の支援。現地からのレポートにより、被害の現状について学んだ。保護者の理解も得て、保護者も募金に協力した。

2. 海外の姉妹校との手紙の交流 [国際理解]

聖心姉妹校の世界に広がるネットワークを活かして、姉妹校間での継続的な交流活動を行い、世界に向けて視野を広げ、お互いの文化・生活の違いや多様性に気づき、世界の一員として生きる意識を深める。英語科の授業で学んだことをもとに、英文手紙による交流を行い、関係を築くことを楽しむ。教師の指導のもとに、自己紹介、日本の生活の紹介などの手紙を書く。日本についての理解も深める。また、児童の委員会活動のひとつ、国際委員会でも日本からの発信をする。

英語科授業での活動

アイルランド	ダブリン	Mount Anville	聖心女子学院	11月、3月
イギリス	ロンドン	Fanvora Hill		11月
アメリカ	セントチャールズ	Academy of the Sacred Heart		6月
	シカゴ	Sacred Heart Schools		6月
	ヒューストン	Duchesne Academy of the Sacred Heart		6月

国際委員会での活動

アイルランド	ダブリン	Mount Anville	聖心女子学院	11月
イギリス	ロンドン	Fanvora Hill		11月
アメリカ	シアトル	Clark College		11月

3. [環境・生物多様性]

神奈川県丹沢、山梨県清里高原において宿泊校外学習を行い、周囲の自然環境とそこに生きる生物とその多様性、森林、人間と自然の共生について学ぶ。それぞれ地域の専門家による講習を受け、実地体験を持って学ぶ。特に、清里高原では、現地ネイチャーセンターのレンジャーの指導による環境教育プログラムを行う。2年連続して初夏と秋の異なる季節に実施することで、自然の季節による変化を学ぶ。

4 年生校外学習 神奈川県足柄上郡松田町 9月18日～20日

松田町教育委員会の協力を得て、周辺の自然、昆虫、小動物、植物などの生物について学ぶ。川の実習も行い、川に住む淡水生物の観察も行う。自然の中での生活体験を通して、自然を味わう感性も育む。

5 年生校外学習 山梨県北杜市高根町清里 6月4日～7日

レンジャーの指導のもとに森林散策、自然観察を行い、森の自然環境、生物多様性などについて実地に学ぶ、自然教育プログラムを行う。森林から実生の若木を採取し、「ピース オブ フォレスト」として各自持ち帰り、1年後に森に戻すために、1年間自宅で育てる。自然保護、自然との共生の考え方を学び、各自の活動を通して自然保護に関わる。

地元農家の協力の下に、田植えの作業も行い、秋に稲刈りも実施する。収穫され、精米された米を食することで、農業と自然、人とのかかわり、食とのかかわりについても実地に学ぶ。

6 年生校外学習 山梨県北杜市高根町清里 9月10日～13日

レンジャーの指導のもとに、ネイチャーゲームなどの環境教育プログラムを行う。5年次には初夏に訪れた地に、秋に訪れることで季節による自然の変化を学ぶ。

5年次に持ち帰ったピース オブ フォレストを持参し、森の中に植林する。児童の中には1年間育てることができず、枯らしてしまった者もあり、植物の成長の難しさ、自然と人とのかかわりの難しさについても学ぶ。

4. 特別支援学校都立久我山青光学園との交流 [人権・平和]

視覚障害のある児童・生徒との交流を通して、障害のある方々についての理解を深め、共に生きる姿勢を育てる。放送委員会は、音声にかかわる活動という観点から、視覚障害のある方々との交流を行っている。

7月27日 放送委員会の児童の夏祭りの参加（親子）

11月13日 放送委員会の児童による学校訪問・交流

11月15日 久我山青光学園教諭による講演会 「視覚障害とは」

全校児童対象

視覚に障害があるとは、どのようなことか、障害のある方と共に生きるにはどのようにしたらよいかについて具体的に学んだ。

5. 東日本大震災被災地支援 [環境、エネルギー、人権]

福島県カリタス原町ベースを通じて、福島第一原子力発電所の事故による

放射能汚染からの避難者を含む、福島県南相馬市仮設住宅の方への手紙の交流。10月以降、毎月各学年100通の季節の手紙を送った。10月6年生、11月3年生、12月1年生、1月2年生、2月4年生、3月5年生が行った。それらの手紙は、カリタス原町ベースの活動での仮設住宅訪問の際に配布された。返信もあり、継続的な交流となってきた。

福島県南相馬市大甕小学校とも文通交流を行っている。

2014年2月5日、福島県カリタス原町ベースで活動中の聖心会修道女から現地の状況を聞く、全校児童参加の朝礼行事を行った。福島第一原子力発電所事故による放射能被害のために避難を余儀なくされている方々についての理解を深めた。原子力発電、発電所の事故とその被害、手紙交流をしている現地の人々への支援の必要性について現実的に学ぶ機会となった。

12月、岩手県釜石市教育委員会を通じて、釜石市内幼稚園、小学校、中学校にクリスマスカードと図書券のプレゼントを贈った。初等科で300通集まり、中・高等科と合わせて全校では660通以上となった。1月には送り先の幼稚園・学校からお礼状が届き、校内に掲示した。この活動は3年前から実施しており、3回目となった。釜石市には保護者父親有志が春・秋に継続的にボランティアに行っており、児童・生徒も父親と一緒に参加している。

6. [国際理解] フィリピン在住の聖心会修道女の講話

フィリピンで活動する日本人修道女の来日の際に、現地での活動の様子について話を聞く朝礼行事を行った。継続的に実施しているので、児童はフィリピンについて親近感を持ち、理解を深めている。

実施 10月18日

7. [国際理解] 音楽道具袋、聖書カバーのフェアトレード品の購入

フィリピンで活動する日本人修道女が指導している現地女性たちの授産施設に、児童が使用する音楽道具袋（1年生）、聖書カバー（5年生）の製作を委託し、フェアトレード品の購入を進めている。保護者会で意図・趣旨を説明し、保護者の理解を得て、購入を通じて経済的な支援に協力してもらっている。

上記6、7の活動は上記1のハイチ・デーの活動と同じ地域のものなので、児童は色々な角度から継続的に学ぶことができ、理解を深め、親近感を持つてかかわることができている。共生の意識を高める重要な要素となっている。

8. [伝統文化] 能楽教室

日本の伝統文化について理解を深めるために、国語の授業、「伝統芸能」の一環として、能楽師である卒業生を招いて、実際に演じてもらい、鼓、太鼓など楽器の説明を受け、所作の体験もする。

6年生で、3月12日に実施。

9. [世界遺産] 3年生総合的学習 富士山

総合的学習の学年の今年度のテーマとして世界遺産となった「富士山」を

とりあげ、多角的な調べ学習を行った。グループ学習として進めた。学習の成果を冊子として作品にまとめ、ポスター展示も行って発表した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ 児童の委員会活動の時間、校外学習、夏休み ）